

茶堂とその周辺レポート

「88ヶ所石仏巡り」に豊岡方面の「歩こう会」が訪れる



4月18日(土) 午前9時から、金浦区老人会(現在、「宝クラブ」に改称) 20名による恒例のお大師さん前の放光院の清掃作業が行われました。空模様を気にしながらの作業となりました。境内や堂内を2時間ほどかけてきれいになりました。掃除開始後間もなく、歩こう会の団体が「石仏巡りをする前に、放光院の三仏にお参りしたい、併せて周辺史跡の説明をしてほしい」と依頼がありました。豊岡方面の団

体で、コロナ禍のため、毎月但馬界隈を2ヶ所選定して歩いておられるとのこと。会員は1000名以上の組織でこの日は40名程度が参加していました。約20分程度の説明は、金浦と高原に関する「かるた」や「郷土誌」の作成担当者である旧老人会の世話役代行のH氏が担当しました。



わざわざ堂内の三仏を拝観までされたと言う事は、事前学習をされていたに違はなく、この地を選定された理由等について詳しくお聞きすることが出来なかった事が心残りでした。目下、この「歩こう会」の所在を探索中です。情報がありましたら放光院管理人までお知らせください。



「石仏巡り」関連ニュース

記：広報担当

3月のある日曜日の昼下がり、お決まりのウォーキングをしていました。さわやかトイレから夜久野温泉に向かう直線コースで、神戸から来られた3人のシニア男性と出会いました。ノルディックウォーク用に身を固め、石仏巡りも終盤のようでした。折角お越しになったのだからと厚かましくも、この近辺の宝山、茶堂、夜久野城趾、応仁の乱、成相道、高原野菜や果樹等について15分ほど説明しました。そのなかで気になる発言がありました。「山中の石仏巡りで、ルート案内標示がなくて迷子になった」。申し訳ない思いになりました。今まさに護持会で取組始めている「石仏巡りの日・参道整備・ガイドブックの作成やガイドの養成」の大切さを改めて認識した次第です。

4/21 大師祭の日に石仏巡り→他県からぶどう栽培のために金浦に移住してきた若夫婦がいます。気さくで村の付き合いもよくしています。金浦では庵世話役を隣保毎に配置。今年はその当番で大師祭前日の準備に役員として参加していました。いい機会だったので、賽銭回収の道すがら88ヶ所石仏巡り、史跡について説明しました。翌日の大師祭護摩炊きには夫婦で参加していました。聞けば、午前中に友人2人を誘って4人で噴火口や展望台周辺の石仏巡りをしてきたとのこと。早っや〜。